

# 桜宮自然公園計画図

(三本入)

ここでは、古代日本の耕作にあるような、赤米、黒米などを植えて、遠く明先の暮らしに思いを馳せるのも、また遊園地へとも思っています。

花畑は自然が集えるスペースを併せつつ空間です。季節ごとに花を統一することで見ごたえのある景観になります。

水田に復元する区域、昔ながらの景観をもった浴場跡の池が湧ります。

湿地帯には様々な湿性植物が生え、そこには小さな見立池の趣意も見られるでしょう。

池は、水田に水を張り、メダカやどぶ魚、カエルやトンボ。夏の夜には、ホタルなども見られるようにする。

広場には芝生が有り、みんなが集える多目的広場にする。

水田

花畑

水田

斜面

湿地

池

広場

斜面地には、日本の名山に昔からあるような山ツツジ、山桜、青嵐、オナツリ等の山開きの四季折々に咲き誇ります。

山林

斜面地の麓側に広がる山林は、下草刈りなどの手入れを行い、クスギ、コナラ等の闊葉林を保全し、里山の趣意の蘇る場にしたがい。

(天井田)

## 自然の復元と保護区域

この区域では、昔ながらの自然の保護と復元をはかり、野生生物の多様性の回復と保全に向け、そこに人間が健康で生きて行くための環境を模索したい。

町道八田バイパス線

桜宮自然公園をつくる会